



せたな町で
農業やろっぜ!!



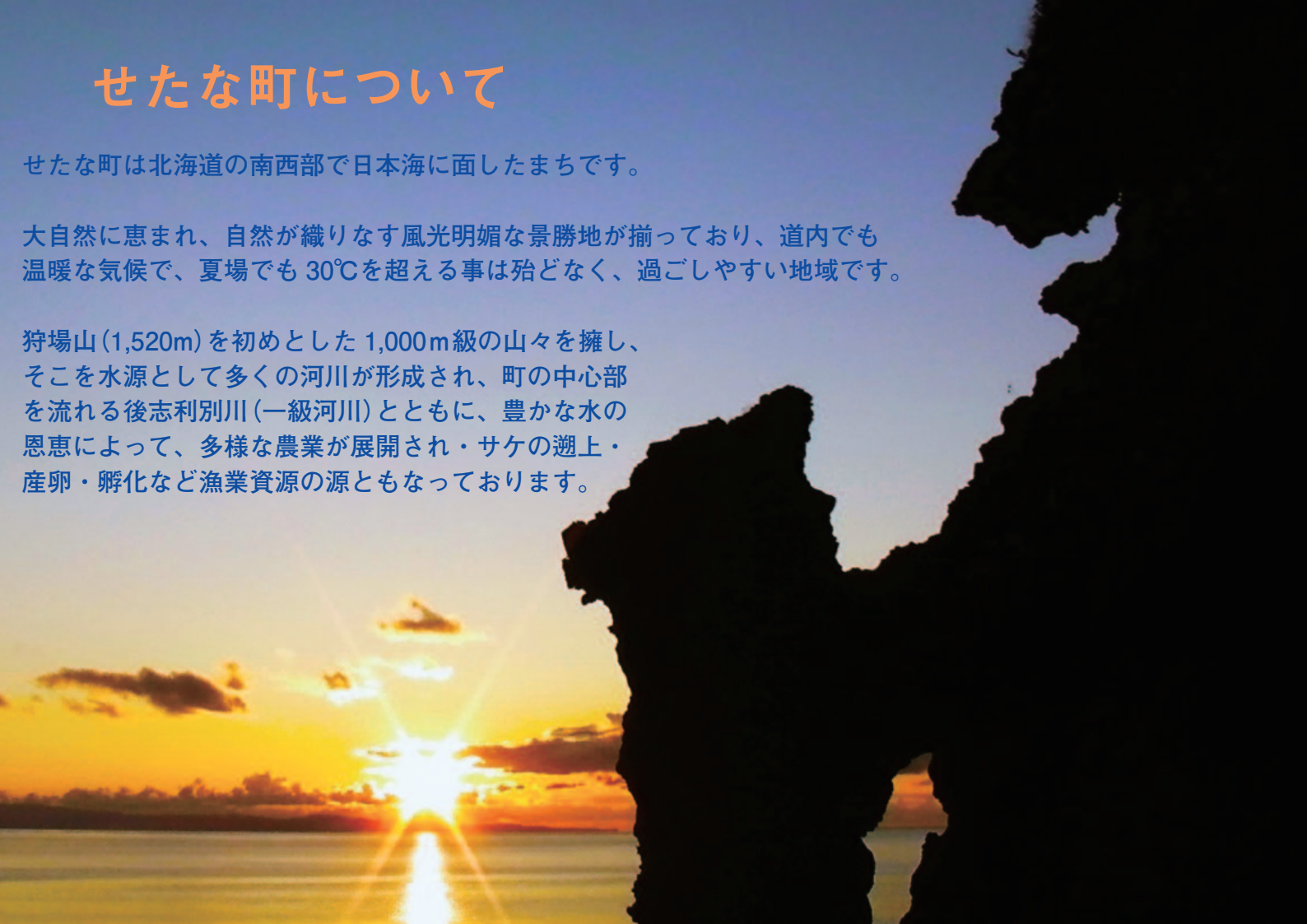
北海道せたな町

せたな町について

せたな町は北海道の南西部で日本海に面したまちです。

大自然に恵まれ、自然が織りなす風光明媚な景勝地が揃っており、道内でも温暖な気候で、夏場でも30℃を超える事は殆どなく、過ごしやすい地域です。

狩場山(1,520m)を初めとした1,000m級の山々を擁し、そこを水源として多くの河川が形成され、町の中心部を流れる後志利別川(一級河川)とともに、豊かな水の恩恵によって、多様な農業が展開され・サケの遡上・産卵・孵化など漁業資源の源ともなっております。



町のすがた

人口 8,026 人 (男性 3,788 人 女性 4,238 人) 世帯数 4,260 戸
(H30 年 8 月末現在)

農業の概要

販売農家戸数 361 戸 (H27 農林漁業センサス)
農業就業人口 786 人 (H27 農林漁業センサス)
農業算出額 約 4.4 億円
内訳: 米 16.2 億円、豆類 1.6 億円、いも類 3.9 億円、
野菜類 3.5 億円、肉用牛 5.1 億円、生乳等 12.5 億円、豚等 1.2 億円

町の施設

【学 校】◆小学校 4 校 ◆中学校 3 校 ◆高校 1 校
【子育て支援】◆保育所 2 カ所 ◆認定こども園 1 カ所
◆学童保育所 3 カ所
【病院・診療所】◆病院 2 カ所 ◆診療所 7 カ所
(医科 2 カ所、歯科 5 カ所)
【コンビニ】◆セイコーマート 3 店 ◆ローソン 1 店

せたな町 農業の魅力

本町では温暖な気候の中、水稲、馬鈴薯、大豆、酪農、肉用牛、めん羊などのほか、高収益作物として、ブロッコリー、ハウレンソウ、スナップエンドウなどの作付けが行われており、近年では海洋深層水を使用した「潮トマト」の生産にも取り組んでいます。

また、一部では有機農業や自然農法などの環境保全型農業の取り組みもあり、多様な農業が展開されております。



【水稲】

道南では作付面積が一番大きく、作付け品種は道南に特化した良食味米の「ふっくりんこ」や高評価が続く「ななつぼし」、全国区の「ゆめぴりか」、クリーン農業に適した「きたくりん」など温暖な地域ならではのバラエティに富んだ多様な品種を作付けしています。

【馬鈴薯】

通常の露地栽培のほかに、早期出荷をするために、マルチ栽培、ハウス栽培などが行われ、収益性の向上と高率的な作業体制が構築されています。



【酪農】

本町の酪農は大型法人もありますが、総じて経営規模が家族労働で賄える搾乳牛が 30 ~ 50 頭規模の農家が大半です。水稲・肉牛などとの複合経営や、コンパクトな放牧による低コスト酪農の実践など、多様な経営が行われており、乳製品加工などに取り組んでいる農家もいます。

高収益作物

水稲や畑作の複合作物として、**ハウレンソウ・ブロッコリー**を栽培し、ブランド化を目指しているところです。近年では**スナップエンドウ**や水稲の育苗ハウスの有効利用が可能な**潮トマト**の取り組みが行われています。



新規就農の心がまえ

農業は、自然の中で作物や家畜を育て、自分自身で作業内容や時間を決めることができる一方、猛烈に働かなければならない場合もあるほか、地域に溶け込み、自身の役割を担って地元の方々と良好な関係を築いていく必要があります。そこでこれから農業を始めようと考えているかたは下記のポイントを踏まえた上で、検討を進めて下さい。

1. 農業を仕事とすること

新規就農は、「起業」であり、自身で経営を管理・運営し、技術習得、生産・販売だけでなくコスト管理や経理事務をこなし、税務申告まで行う必要があることを理解して検討して下さい。

2. 家族の同意

既婚者は、就農により生活環境、教育・医療などが大きく変わり、特に配偶者の協力は不可欠であることから、家族の同意のもとに進める必要があります。

また、独身者も含め、親・兄弟・姉妹の理解を得ることも重要で、精神的な支えや、資金援助を受けたり、将来的に融資を受ける際の保証人となることも考えられますので、十分な理解を得るようにして下さい。

3. 将来のビジョン

自分がどのような農業を目指すのか、作目（水稻・畑作・野菜・酪農など）や経営規模など、具体的に「やりたい農業」のイメージを持ち、必要な技術習得、住居、機械施設、農地面積等や必要な金額（運転資金・生活費含む）などを明確化し、その実現に向けて準備をします。

また、イメージした将来のビジョンが客観的に見て実現可能と思えなければ、モチベーションの維持は難しくなります。

4. 資金について

新規就農にあたり、お金は重要です。国や町などから、研修や就農時の支援制度もありますが、営農に必要な運転資金や現金収入があるまでの生活費等を確保する必要があります。

新規就農者向けの制度融資資金なども活用できますが、将来的に安定した経営を維持するためには、少しでも多くの自己資金を用意することが重要となります。

就農までの流れ

1. 情報収集・就農相談

- ・せたな町農業担い手育成センターにメールや電話で照会
- ・せたな町に訪問し、具体的な就農相談や現地確認
(農地情報の提供・経営移譲農家とのマッチング等)



2. 農業体験・現地見学

- ・せたな町内で体験研修(実習)(数日~数ヶ月程度)
- ・農業関係者、地域農家との意見交換などによる疑問点の解消
- ・生活環境、医療、教育などの地域情報の確認



3. 就農の検討・決定

- ・思い描く農業の実現性について(生産技術・経営収支など)
- ・配偶者、家族、親族の理解、応援の意向を確認
- ・自己資金等の調達見込
- ・地域への溶け込みの理解



4. 農業研修(農家・研修機関等)

- ・指導農家や移譲予定農家での技術研修(概ね2年以上)
- ・研修機関(花、野菜センター、農業大学校など)での研修も併用可能
- ・就農希望者は期間中に就農地、規模等を具体的に選定
- ・就農計画の策定

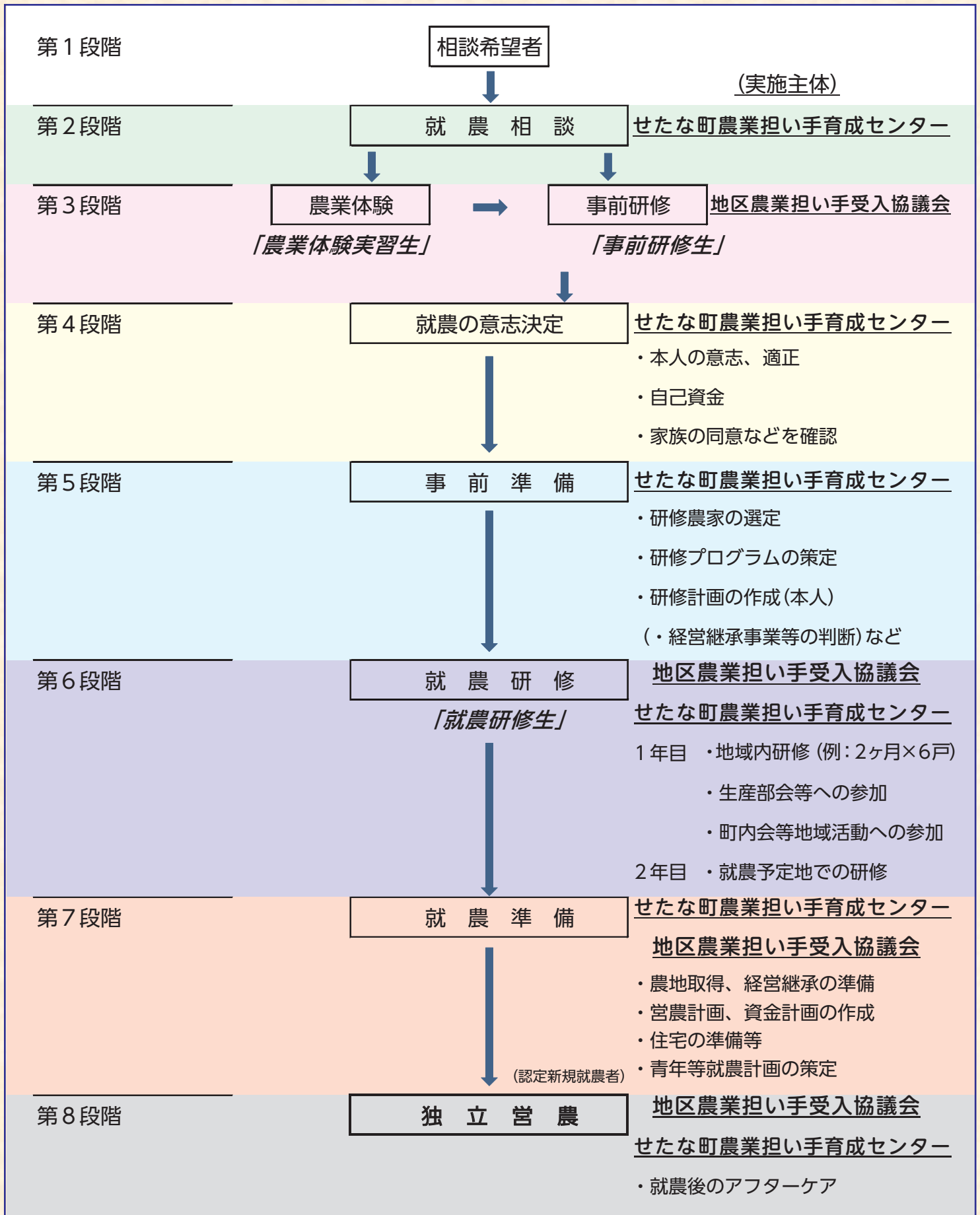


5. 新規就農・経営承継

- ・農地の取得又は賃借
- ・農業機械、施設等の取得
- ・種苗、肥飼料、生産資材等の購入
- ・当面の生活費を用意
- ・良好な人間関係の構築

※ 自動車免許は「マニュアル」の取得を推奨致します。

せたな町就農フローチャート



就農に係る支援制度・補助金

★研修制度

農業次世代人材投資事業						
国	補助対象者	補助対象内容	補助対象経費	限度額	補助対象限度	その他
	新規就農希望者	準備金(2年間)		150万円/年		・45歳未満(夫婦一人ずつ対象可能)
新規就農研修支援事業補助金						
町	補助対象者	補助対象内容	補助対象経費	補助金額	補助対象限度	その他
	新規就農希望者	せたな町内での新規就農のために研修等を行う者に対する補助	せたな町内で新規就農のために研修等を行う者に対する補助	月12万円 ※夫婦で研修を行う場合は1.5倍の額	最長2年	・6ヶ月以上の長期研修 ・45歳未満

★就農制度

農業次世代人材投資事業						
国	補助対象者	補助対象内容	補助対象経費	限度額	補助対象限度	その他
	新規就農者	経営開始型(5年間)		・1年目並びに前年所得100万円未満150万円/年 ・前年所得100万円以上350万円未満変動		・45歳未満(夫婦で共同経営1.5人分)
産業担い手育成事業奨励金						
町	補助対象者	補助対象内容	補助対象経費	奨励金額	補助対象限度	その他
	新規就農者	町外からせたな町で新たに農地等取得し農業を営む者に対して奨励金を交付		200万円	1回限り	・45歳未満 ・年間150日以上営農すること ・5年以上営農すること
産業担い手育成事業補助金						
町	補助対象者	補助対象内容	補助対象経費	補助金額	補助対象限度	その他
	新規就農者	農用地の賃借料の補助(5年間)	農業経営基盤強化促進法に基づき利用権を設定した農地の賃借料	賃借料相当額	上限年額150万円	
	新規就農者	固定資産税の補助(5年間)	農業を開始する年度に取得した農用地及び農業用施設の固定資産税	固定資産税額		
	新規就農者	利子補給(5年間)	農業経営に必要な資産を取得するために借入した制度資金の貸付利息	利子補給額	貸付利率上限2%	・農地、機械、新築住宅等

★農業実習・研修宿泊施設

町内農家等で農業実習・体験を希望する研修生の宿泊施設

場所は、瀬棚区東大里(旧馬場川小学校横)

北檜山区二俣(農業センター敷地内)

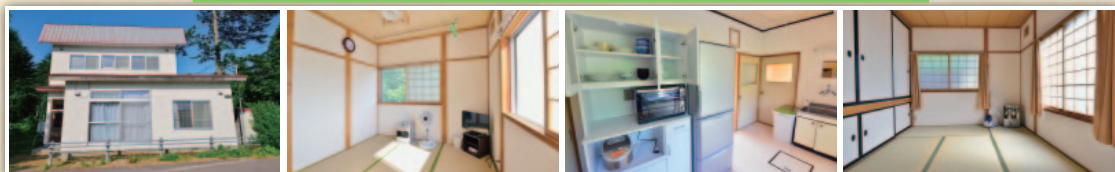
利用料: 1日1人500円

家電・生活用品完備

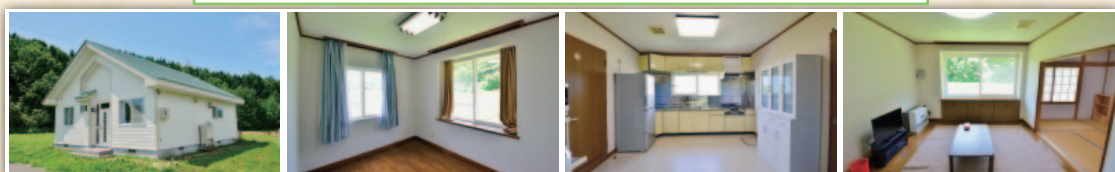
短期・長期研修でもご利用可能

最大5名程度利用可能

東大里住宅(せたな町瀬棚区東大里183-1) 3LDK 木造2階建 78.93㎡



二俣住宅(せたな町北檜山区二俣55-1) 3LDK 木造平屋建 80.42㎡



詳細は、下記担当までご連絡ください。

せたな町役場 農務課農政係 Tel.0137-84-5111 Fax.0137-84-6833

～車の移動～

★札幌市から日本海ルートを経由

・国道 5 号を利用して小樽市、仁木町、共和町を経由し岩内町まで出て、そこから国道 229 号沿いに蘭越町、寿都町、島牧村を経てせたな町内へ（約 4 時間 30 分）

★札幌市から噴火湾ルートを経由

・国道 230 号を利用して喜茂別町、洞爺湖町を経由し豊浦町まで出て、そこから国道 37 号沿いに長万部町を経由して国縫地区で再び国道 230 号沿いの今金町を経てせたな町内へ（約 4 時間）

★函館市から日本海ルートを経由

・国道 227 号を利用して北斗市、厚沢部町を経由し国道 229 号の乙部町まで出て、さらに八雲町熊石地区を経てせたな町内へ（約 3 時間）

★函館市から噴火湾ルートを経由

・国道 5 号を利用して七飯町、森町を経由し噴火湾沿岸まで出て、さらに八雲町中心部から道道 42 号を経てせたな町内へ（約 2 時間 30 分）

★アクセスマップ★



～JRの移動～

・JR 函館線を利用して長万部駅で下車、函館バスに乗り換え今金町を経てせたな町内へ（JR 長万部駅から北檜山のバスは約 1 時間 20 分）
※1 日 7 往復



セターナちゃん

～バスの移動～

(H30 年 9 月 1 日現在)

★函館市からの『快速瀬棚号』を利用する場合

【下り】
上三本杉 6:14 → 函館バスセンター 9:59

【上り】
函館バスセンター 14:51 → 上三本杉 18:36

運行期間：通年運行

料金：片道 2,680 円

お問い合わせ：函館バス株式会社

TEL 0138-51-3137

★『特急せたな号』を使用する場合

【札幌発】
大通バスセンター 8:00
→ せたな港フェリーターミナル 12:40
【せたな発】
せたな港フェリーターミナル 14:10
→ 札幌駅前 18:55

運行期間：5 月 1 日～ 10 月 15 日

12 月 28 日～ 12 月 31 日

1 月 2 日～ 1 月 4 日

料金：片道 5,140 円 往復 9,680 円

お問い合わせ：北都交通札幌予約センター

TEL 011-241-0241